

学区住民の誰もが
共に安心して
暮らせる
生活環境作り



平成29年3月

第50号

編集発行
口田学区町内連合会
口田学区各種団体

口田学区町内連合会

安佐市民病院跡地問題

五項目の提言で、具体化が前進

安佐市民病院（安佐北区可部南）移転に伴う跡地利用策が話し合われてきましたが、昨年11月、安佐北区民の代表らで組織する「跡地活用検討協議会」（大島正彦座長）が松井広島市長に対して提言書を提出したことから、跡地利用の具体的施策が大きく前進を始まりました。

提言の柱は①文化・コミュニティに関する（文化ホール、図書館、コミュニティセンター等）施設の建設②公園・広場（子育て世帯向けの公園やイベント広場）③子育て支援施設（子ども向け施設、保育施設）④産直広場⑤看護、医療技術、福祉の専門学校の設定の五項目となっています。

これに対して広島市も対応します。2月22日、市議会開会中の総務委員会で提言の中身を報告し、市の考えを説明しました。このなかで、市



跡地利用のため取り壊される安佐市民病院南館と駐車場

は⑤項目の「看護、医療技術、福祉専門学校の設立」に関して、「病院南館などの施設を解体した跡地へ医療・福祉系の学校を誘致したい。その際は事業者を公募する」と明らかにしました。また、他の施設についても、多目的広場と産直市場を整備、医療機能を残す北館にはホールや子育て支援施設を充てたい意向も示しました。ただ、文化センター、図書館は既存の施設で対応できるとして、①項目の「文化・コミュニティ施設」は見送る方針のほかは、ほぼ提言に沿った具体策を実現させたい考えで、「引き続き地元住民と協議を進めて提言の実現化を諮りたい」と説明しています。

矢口水門ポンプ増設工事

ポンプ据え付け準備も本格化

太田川矢口水門ポンプ増設工事は、建屋建設工事に並行して大型ポンプの据え付けのための内装工事も本格化するなど、いよいよ工事は大詰め段階に入りました。

ポンプが据え付けられる鉄筋コンクリート二階建て（528平方メートル）の建屋は、3月末の完



排水ポンプが据え付けられる建屋の完成予想図



排水を太田川に導入するため埋め戻されるコンクリートボックス

安佐市民病院の移転問題を巡っては、存続主張と誘致を訴える双方の地元住民の激しい綱引き合戦が展開されました。結局、3年間の議論の末に病院の一部施設（診療）を残して、約3^キ北の荒下地区（亀山南）へ移転することで決着。平成27年暮れ、安佐北区内の地域代表者でつくる「跡地活用検討協議会」が設立され、およそ一年間に渡って話し合いを続け、提言書の提出にこぎつけました。

口田地区の住民らは「移転先病院へ通う不便さが加わるが、この上は、跡地利用が地域発展の核になるよう強力で推進して欲しい」と、期待を込める声が聴かれました。

平成28年度を終えて

口田学区町内連合会会長 越智 兼光

平素は連合会にご協力を賜り心より感謝いたします。平成28年度は大災害もなく平穏な1年となりました。

懸案の防災行政無線屋外スピーカー施設がふじランドの皆様のご理解をいただいで第一公園に設置できました。サイレンの不要なことを祈りますが、いつ災害が起きるか分からない昨今です。万一に備えた地域づくりの一助になればと思います。

災害時の三原則といわれています「自助。共助。公助」を考慮した住みやすく災害に強いまちづくりを皆様方のご協力を得て推進したいと考えております。

体育協会

この一年を終えて

口田体育協会は昨年10月に文部科学大臣表彰(生涯スポーツ優良団体)を受賞しました。40年以上の活動に対する表彰です。体協は「多様なスポーツを楽しもう」をモットーに活動してまいりました。今日まで継続できましたのはひとえに町内皆様方のご支援とご協力の賜物と厚く感謝申し上げます。ありがとうございます。

また、これからも体協の運営活動にさらなるご支援とご協力を宜しくお願いいたします。(村井)

◎第28回ミニサッカー大会(12月4日)「一般の部」優勝 連合(弘住)

小田・上小田南・中小田)▽2位
上小田西▽3位 下矢口

「女性の部」20人の参加で3チーム3試合

◎第27回グラウンドゴルフ大会(12月11日)優勝 中小田▽2位 上小田▽3位 ふじランド

◎第34回バドミントン大会(12月11日)優勝 小田▽2位 ふじランド▽3位 下矢口A・同B

◎第36回ソフトテニス大会(1月29日)優勝 ふじランド▽2位 下矢口B▽3位 下矢口A

以上の4競技で今年度の支援競技は全て終了しました。現在、体協の競技種目では軽スポーツに人気があります。友達を誘いご参加ください。

青少年健全育成連絡協議会

青少協の活動について

青少協は地域内の子ども達の見守りや非行防止を目的に活動しています。地域内のさまざまな行事などにかかわる子らに志同じくする諸団体と連携。登下校時のあいさつ運動、参加の呼び掛けは子ども達と大人の「顔の見える化」が大切です。

また、休日の公園、神社、スーパーやコンビニのパトロールは不良行為・喫煙・万引など未然防止しようという思いからです。そのためにも地域の皆様方の情報や助言などいただきながら、頑張りますのでご協力よろしくお願いいたします。

声掛け不審者に注意を!

最近、スーパーやコンビニ付近

で下校中の子ども達に「小遣いをあげるから遊びにおいで」、「菓子を食べれば怖くないでしょ」—などと声を掛ける不審者がいます。この情報は現場を目撃された保護者の方からです。70歳前後の男性で、飲酒状態とのことでした。

子ども達が事故、事件に巻き込まれてからでは遅いのです。家庭では「知らない人から声を掛けられても近寄らない」など子ども達に注意するよう話してください。また、地域の皆様方へ下校時の見守りをよろしくお願いいたします。青少協もパトロールなど増やし、子ども達の安全下校に努めます。

(伊藤)

公衆衛生推進協議会

献血の協力に感謝

平成28年度の2回目の献血が2月25日、口田郵便局前で行われました。安芸矢口駅前やフレスタ前の歩道で通行者へ呼びかけたり、広報車で区域内の皆さんへ献血協力を訴えました。

当日は風が吹き寒く、来場者を心配しましたが、多くの方(採血者54人)から献血の協力を得ることができました。心より感謝いたします。

安佐北区内の他学区では1月の大雪のため、予定した献血が中止となるなど輸血用血液が大変不足しました。血液不足解消のため、広島県赤十字血液センターは崇徳高校(西区)に急ぎよでかけ、生徒らに献血の協

力要請し、教職員、生徒73人が献血に参加してもらいました。

冬季は最も血液の不足する時期ですが、天候による原因や献血者数の減少もあります。口田学区に限らず献血者数は年々減少していることが気掛かりです。

採決の条件は以下の通りです。

▽年齢(18歳以上、69歳以下)

▽体重(50kg以上)

▽採血量(400cc)

この条件も献血者減の要因かもしれません。今後も学区公衆衛生推進協議会は年2回の献血を実施しますので、健康な人の献血をよろしくお願いいたします。

次回は今年7月2日(日)レッツ口田南店前です。(栗本)

防犯組合

性犯罪、声掛けの現状と対応

平成28年に広島県内の子どもと女性を対象にした性犯罪や声掛け事件は2,769件発生しています。前年と比較し、件数は減少していますが、その3分の1が声を掛けてつきまとうなど迷惑行為です。被害者は15〜18歳が2割を占めています。

また、安佐北区管内の例では、子ども対象が55件、女性対象が90件発生しています。

不審者情報を提供してくれる通信サービスの利用すれば、被害発生場所の情報を知ることが出来るシステムもあります。自分の身は自分で守る、という自己防衛も大切です。被害防止のため参考にしてみてはどうでしょうか。

県内の特殊詐欺被害額は10億円超え

平成28年一年間に発生した特殊詐欺は前年と比較して、件数、被害額とも減少しました。しかし、被害額は依然として10億円を超えています。特に還付金詐欺は件数、被害額とも増加しました。

犯人たちは「医療保険の還付がある」、「保険料の過払いがある」、「ATMで還付金の受け取り手続きを」—などと言葉巧みに近寄ってきます。「電話がかかってくるお金の話はすべて詐欺!」—と思ってください。ATM機に向かう前に、必ず家族や警察に相談しましょう。

(丸田)

子ども会育成協議会

この1年を振り返って

育成会はこの1年さまざまな行事を行いました。スポーツクラブ開校式はやる気満々の子ども達が集まりました。

球技大会では、低学年生が懸命になつてボールを投げる姿に感動。勝負にこだわる高学年生の負けると悔し涙を流す姿に熱いものを感じました。応援する保護者も、はつらつとした子らのプレーにつられ、盛りあがったのが印象的でした。

また、「プレーパーク」の森の中では、子らは思い思いの遊びやものづくりに挑戦。できた作品を大事そうに抱え満足顔が印象的でした。親子たちが子の成長に幸せを感じられていました。

「育成会の仕事は負担が大で楽でない」とよく聞きますが、前向きに考えるなら、行事の度に新しい発見があり、行事が終われば役員も子ども達と一緒に笑顔になれます。子どもの笑顔を見るため、親が頑張るのは親の務め。子どもに我慢をさせず、地域の皆さんと共に感謝の心ある活動をしたいと考えています。

このほか、学区内各団体の行事に参加させていただき、行事の企画や準備、本番など勉強させていただいています。

育成会は子どもと親だけでなく地域の皆さんの協力のおかげで成長しています。家や学校では体験できない最も大切な「人と人」とのかかわりを学び成長しています。

(藤本)

女性会

市女連事務所が移転

広島市総合福祉センター(中区千田町)は施設の老朽化のため、昨年暮れからビックフロントひろしま(南区松原町)へ移転しました。市女連の事務所は5階の一角。眼下に猿猴川の清流、護岸の桜並木など眺望が楽しめます。ぜひ同センター(休館日は第3日曜日、市女連は月、水、金曜日に開所)にお寄りください。

2月25日に市女連文化教室発表会(芸能、作品展やバザーなど)が盛大に開催されました。口田女性会は新しい環境を整えていただき、地域の福祉向上のため志新たに頑張ります。(中平)

次世代リーダー研修会

市女連の研修会が昨年から始まり

ました。第1回「カラーセラピー」講座では、気持ちが悪くない時の、人との接し方を学びました。色を変えることで気持ちを切り替えることができるのです。第2回「更年期を幸年期とする」講座では、コミュニケーションの語尾の使い方一つで話が丸くなることを学びました。第3回「紙芝居が面白い」の講座では、親子に紙芝居を読み聞かせることなどです。

「自分を磨こう」と研修に参加しました。特に第3回目講座では、子どもは真剣に絵を見つめ、絵や言葉からさまざまな発想や判断をすることができるようになるのです。

講座を聴き、死ぬまで勉強だと今まさに充実の連続です。

(下垣内)

口田学区老人クラブ連合会

老人会のクラブ活動

上矢口さわやかクラブは3クラブ(フラダンス、カラオケ、グラウンドゴルフの同好会)があり、それぞれ会員数は20〜30人います。また、月2回の練習活動を意欲的に行っています。他に日帰りのバスツアーや忘年会、新年会など親睦事業で友好を図っています。

フラダンス同好会は活動歴、知名度もあり、地域行事には出演依頼を受けるなど活躍しています。カラオケ同好会はCDを利用し、懐メロから新曲まで幅広く練習。当クラブの交流会などで成果を披露しています。

グラウンドゴルフ同好会はこれまで

で任意活動していましたが、今年度に組織化。練習日ごとの記録取りなど盛況です。地域の大会ではいつも好成績を収めています。

上矢口さわやかクラブの活動が盛んなのは上矢口集会所や口田南公園など施設が近くにあること、町内にリーダーがいること、地域の皆さんが平素のコミュニケーションを大切にしていくことなどが考えられます。

このような活動は高齢者の心身を活性化し活力の源泉になっています。当クラブの活動で培った親密な人間関係は高齢者を明るくし、安全安心な地域づくりに資すると考えます。

(上矢口さわやかクラブ会長 井川 満)

消防団

年末警戒

広島市の消防団は年末の27日から30日の4日間、特別警戒のパトロールを実施しています。初日の広島県消防学校で行われた出動式は安佐北消防団長や安佐北区長らの訓示、激励を受けました。

出初め式

広島市は火災の発生件数も減少し、安堵しています。

年が明け1月5日には恒例の消防出初め式が旧広島市民球場跡地で行われました。

パレードでは52歳級のはしご車を先頭に、特殊車両、消防車などが行進。消防団員も車両部隊、歩行部隊で参加しました。

消防団は様々な職業や年齢の人が活動できる団体です。団員は男女を問わず募集しています。心身の健康のためにも一歩踏み出してください。待っています。

(片山)

社会福祉協議会

今年も盛況だった福祉バザー

地域の皆様の善意で寄せられた提供品(総数4,640点)を販売し、その売上げで地域の福祉事業を推進する「第25回ふれあい福祉バザー」が2月5日に口田小体育館で開催されました。

バザーは「日用品A(雑貨類)」、「日用品B(食器類)」、「電化製品」、「食料品」、「衣料品(手づくり品)」、「100円均一品」の6コーナーに仕分け、市販の半額程度を目安に値札が付けられました。

当日はあいにくの雨でしたが、買い物客は早くから長蛇の列を作り、例年通り人気を博しました。開場と同時に、買い物客が商品を次々に買いあさっていました。

館内では、多くの人に行き渡るように、一人5点まで買える制限を設けたため、再度入場する人の姿も見られました。「食料品」、洗剤などの「日用品」のコーナーが見る間に売り切れ状態になる人気となりました。



福祉バザー会場は品物を買求める人らで大賑わい

ぬいぐるみやおもちゃ、文具類などのセット商品を集めた「100円均一品コーナー」にも親子連れらが迷いながら買物を楽しんでいく姿が印象的でした。

例年のことながら他地区の来館者が目立ち、口田東学区から買い物に訪れた人は「品数、お客さんも多く、賑やかですね。私も買い物しましたよ」と楽しそうに話されていました。

福祉バザーは盛況のうちに終わることができました。これも品物を提供下さいました地域の皆様方、口田小5年生の児童・保護者の皆様方のおかげです。また、慣例となっているバザー商品収集に協力いただいた皆様方に感謝申し上げます。管内15町内会役員の皆様は会場づくり・販売などの手伝いに従事下さいました。心より感謝いたします。

今年のバザー売上金は寄付金(8,520円)を含めて、274,520円でした。この浄財は地域福祉事業推進のため大切に活用させていただきます。ありがとうございました。(伊藤)

お年寄りとの交流

園児の歌や演奏に感動

昨年の12月6日に地域のお年寄り、社会協役員ら52人がふじランド集会所に口田保育園児28人を招き「クリスマス会」を行いました。この集いは地域お年寄りとの交流の一環です。園児らが歌と鍵盤ハーモニカの演奏を披露したのに対して、お年寄りからは、園児の頑張る姿に大きな拍手を送っていました。

続いて一人ひとりと手を取り合い触れ合うじゃんけん大会に挑戦。園児が負ければ

お年寄りの肩たたき、お年寄りが負ければ園児とハグが義務付けられるのです。大きな掛け声があるなか、歓声をあげて肩たたきする園児、園児を抱くお年寄りらで大賑わいになりました。

また、いでしたクリニックのサンタさんも駆けつけ、「清しこの夜」などクリスマスソングを合唱。交流会は大いに盛り上がりました。

2月23日、今度は園児たちが「ひな祭り」を開催して招待のお返しです。年少、年中、年長の順に歌や合奏、踊りを披露。懸命に舞台をつとめる園児たちの笑顔に、お年寄りは感動の眼で拍手を送っておられました。今回も社協役員らがマジックで飛び入り



園児らとふれあうお年寄りに招かれ交流会

参加。絶妙なテクニクと話術で会場を盛りあげました。最後は全員で「ひな祭り」を合唱するなど賑やかな交流会となりました。

いきいき百歳体操

口田ふれあいセンターは、口田地域包括支援センターの協力で今年1月から毎週木曜日の午後、介護予防教室「いきいき百歳健康体操」を開催しています。

お年寄りに無理のない体操で、元気を維持してもらおうというものです。頭のてっぺんから足先まで優しくゆつくりした運動です。どうぞ友達をお誘いの上、是非ご参加ください。また、囲碁や将棋のお好きな方は毎水曜日に起こし下さい。参加者はどなたも気軽に楽しんでおられますよ。

配食サービスの日程

月	1回目	2回目
3月	14日(火)	28日(火)
4月	11日(火)	25日(火)
5月	鯉のぼり会	23日(火)
6月	13日(火)	27日(火)

※鯉のぼり会 5月10日(水)(口田保育園児との交流)

※行事のある時は、一般の配食サービスは行いません。

お知らせ

口田地区社会福祉協議会は新年度スタートに向けての会議日程を次の通り決めました。

4月10日(月) 第一回常任理事会
(ふれあいセンター、午後7時半から)

4月14日(金) 福祉リーダー研修会
(口田集会所、午後7時半から)

5月19日(金) 理事総会
(口田南集会所、午後7時半から)

28年度の主な行事の日程をお知らせいたします。

▽車イス・アイマスク体験会 6月3日(土)

▽敬老会 9月17日(日)

▽福祉まつり 10月28日(土)

▽福祉バザー 30年2月4日(日)

愛の灯 善意募金

- ★この募金は、口田地区の福祉活動に活用させていただきます。
- ★香典返し、見舞返し等の虚礼を廃止し、社会福祉のために、あなたの善意をお寄せ下さい。



社会福祉協議会会長 伊藤 昭善

◎募金振込先
JA広島口田支店 口座番号0296920
口田郵便局 口座番号15190-31497851